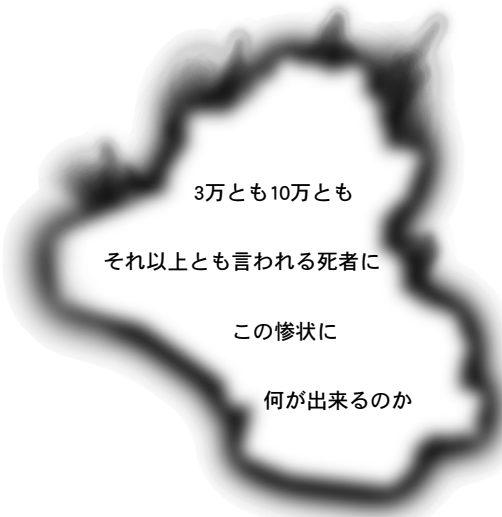


イラク戦争はまだ終わりません。

昔の日本が中国に攻めたときは、当時の首都南京を占領し、都市を破壊しても戦争は終わらなかった。

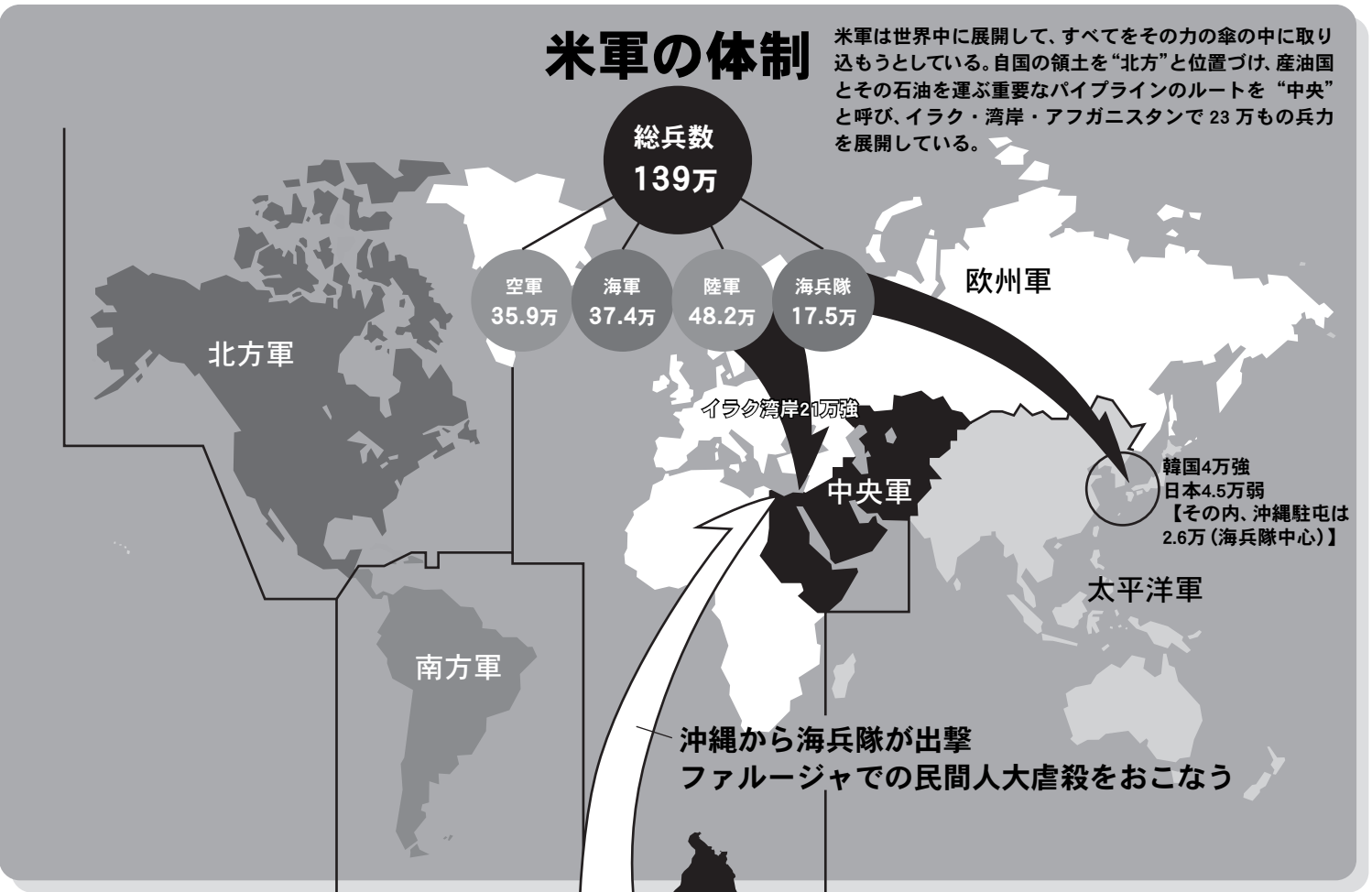
ソビエトがアフガニスタンに侵攻したときは、首都カブールはたった一日で陥落しましたが、結局10年後ソビエトが撤退するまで抵抗は続き、その後内戦が起こり、現在も米軍の傀儡政権とゲリラとの内戦は続いています。

3年前テレビでフセイン像が倒されるのを見て、イラク戦争が終わったと思った人もいたかも知れませんが、過去の歴史の教訓から見ても泥沼化は避けられない状況だったのです。もし、この泥沼化を避けられる方法があったとしたら、それは米軍の即時撤退でした。しかし、彼らは石油にまつわる覇権のためにこの戦争を起こしたのだから、いまだこの地の支配をあきらめるつもりはないのです。



米軍の体制

米軍は世界中に展開して、すべてをその力の傘の中に取り込もうとしている。自国の領土を“北方”と位置づけ、産油国とその石油を運ぶ重要なパイプラインのルート“中央”と呼び、イラク・湾岸・アフガニスタンで23万もの兵力を展開している。



イラクやアフガニスタンに派遣され最前線でむごい戦争してきたアメリカの兵力は、この沖縄から派遣された海兵隊です。この海兵隊は日本の思いやり予算で訓練し世界中で大勢の人を殺害してきました。アメリカの侵略を受けた人々は、この沖縄を悪魔の島と呼ぶそうです。日本にある米軍基地をこの場所に押しつけたのはアメリカと日本の両政府と、



そのことに無関心な大半の日本人です。イラクでこれ以上の殺戮を許さないためにもこの場所に新しい基地を作らせないことが必要かも知れません。

米軍の再編

- 大規模駐屯から迅速機動部隊へ
- 沖縄から海兵隊の司令部機能と一部兵力のグアム移転 (戦闘員の大半は残留)
- 同盟軍の活用強化

日本ではキャンプ座間を中心に自衛隊の陸・海・空の司令部がアメリカ太平洋軍のそれぞれ陸・海・空軍の司令部と融合 (これによって米軍の起こす戦争に自動的に自衛隊が参戦していくことが決まってしまう。いま憲法改正の圧力をアメリカがかけてくるのもこのため)